ナンバリング	段階	科目群	科目名	必修/選択	履修年次	講義/演習	単位数	開講期	遠隔授業	DPとの関連						テーマ	目的と概要	学修目標	到達目標	前提科目
										DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6					
SIK91-2-001	基礎	資格	博物館概論	必修	2	講義	2	前後期		80		10	10			博物館に関する基礎的知識を理解し、専門性の基礎となる能力を養う。	1 博物館学の目的や方法とその意義について十分に理解できている。 2 博物館の定義・機能・目的と学芸員の役割などについて十分に理解できた上で、その知識を応用することができる。 3 国内外の博物館の歴史と現状について十分に理解し、博物館の現状をめぐる課題を説得力をもって考察できる。	1 博物館学の目的や方法とその意義について理解できる。 2 博物館の定義・機能・目的と学芸員の役割などについて理解できる。 3 国内外の博物館の歴史と現状について理解できる。		
SIK91-2-002	基礎	資格	博物館資料論	必修	2	講義	2	前後期		80		10	10			博物館における資料の収集、整理保管に関する基礎的能力を養う。	1.博物館資料の収集、整理保管等に関する理論や方法に関する知識・技術を習得した上で、その知識・技術を応用することができる。 2.博物館の調査研究活動について十分に理解できた上で、その知識を応用することができる。	1 博物館資料の収集、整理保管等に関する理論や方法に関する知識・技術を習得できている。 2 博物館の調査研究活動について理解できる。		
SIK91-3-008	基礎	資格	博物館経営論	必修	3	講義	2	前後期		80		10	10			博物館における管理・運営について理解し、経営に関する基礎的能力を養う。	博物館の形態面と活動面における適切な管理・運営について十分に理解できた上で、その現状を的確に分析し、その課題を説得力をもって考察することができる。	博物館の形態面と活動面における適切な管理・運営について理解できる。		
SIK91-2-003	発展	資格	博物館情報・メディア論	必修	2・3	講義	2	前後期		80		10	10			博物館における情報・メディアの活用は、コンピューター等の進展に伴う情報技術革新により、ますます重要となっている。本科目の目的は、博物館における情報の意義と活用方法及び情報発信の課題等について理解し、博物館の情報の提供と活用等に関する基礎的能力を養うことにある。具体的には、博物館における情報・メディアの意義、博物館情報の種類、博物館の諸活動の情報化、IoT社会の中の博物館、情報の管理と公開、関連法規(特に著作権)や権利処理、各種メディア機器やインターネットの利活用、デジタルアーカイブ等の現状と可能性などについて理解する。	博物館における情報の意義と活用方法及び情報発信の課題等について十分に理解できた上で、その知識を応用するとともに、博物館における情報・メディアをめぐる現状や課題などについての確かつ説得力を持って考察できる。	博物館における情報の意義と活用方法及び情報発信の課題等について理解できる。		
SIK91-2-004	発展	資格	博物館資料保存論	必修	2・3	講義	2	前後期		80		10	10			博物館における資料保存・展示環境及び収蔵環境	本科目の目的は、博物館資料を保存する博物館の役割や資料の保存と活用のあり方について考えることにある。具体的には、博物館における資料保存の意義、資料を害する要因と資料の損傷・劣化の種類、資料の状態調査及び保存の諸条件と対策(収蔵・展示環境、防災、文化財IPM、輸送と梱包等)、保存方法と修復の実態などについて理解する。これらを通して、博物館における資料保存・展示環境及び収蔵環境を科学的に捉え、資料を良好な状態で保存していくための知識を習得し、資料の保存に関する基礎的能力を養う。	博物館における資料保存・展示環境及び収蔵環境を科学的に捉え、資料を良好な状態で保存していくための知識を十分に習得した上で、資料保存のための方策や計画を的確に提示することができる。	博物館における資料保存・展示環境及び収蔵環境を科学的に捉え、資料を良好な状態で保存していくための知識を習得できている。	
SIK91-2-005	発展	資格	博物館展示論	必修	2・3	講義	2	前後期		80		10	10			博物館における展示の歴史、展示メディア、展示による教育活動	学芸員は、展示を通して、資料や作品とその展示の意義を正確に、わかりやすく、魅力的に利用者に伝える努力をしなければならない。そのために、展示に関する様々な知識や応用力が必要である。本科目の目的は、展示の歴史、展示メディア、展示による教育活動、展示の諸形態等に関する理論及び方法に関する知識・技術を習得することで、博物館の展示機能に関する基礎的能力を養うことにある。具体的には、博物館展示の意義、調査研究と展示、展示の歴史、展示の政治性や社会性、博物館展示の方法、展示の制作と実際、展示の技術や解説のあり方、資料に合わせた展示の諸形態とその実際、展示における課題などについて理解する。	展示の歴史、展示メディア、展示による教育活動、展示の諸形態等に関する理論及び方法に関する知識・技術を十分に習得した上で、その知識・技術を応用することができる。	展示の歴史、展示メディア、展示による教育活動、展示の諸形態等に関する理論及び方法に関する知識・技術を習得できている。	
SIK91-2-006	発展	資格	博物館教育論	必修	2・3	講義	2	前後期		80		10	10			博物館における教育活動の基盤となる理論や実践に関する知識と方法を習得する。	社会教育の場として博物館が果たすべき役割は、年々増加傾向にある。学芸員は博物館の専門職員でありながらも地域社会における教育指導者として貢献することが求められている。本科目の目的は、博物館における教育活動の基盤となる理論や実践に関する知識と方法を習得し、博物館の教育機能に関する基礎的能力を養うことにある。具体的には、博物館教育の意義、博物館における学びの特性、博物館教育の手法、その企画と実施、学校教育との連携、利用者の博物館体験、博物館の諸機能の教育的意義、博物館教育の展望などについて理解する。	博物館における教育活動の基盤となる理論や実践に関する知識と方法を十分に習得した上で、その知識や方法を応用することができる。	博物館における教育活動の基盤となる理論や実践に関する知識と方法を習得できている。	
SIK91-2-007	発展	資格	生涯学習概論	必修	2・3	講義	2	前後期		80		10	10			博物館における生涯学習及び社会教育の本質と意義を理解する。	現代社会において、生涯学習の重要性は高まっている。そのようななかで、社会教育施設の一つである博物館の学芸員には、生涯学習に対する理解が求められる。本科目の目的は、生涯学習及び社会教育の本質と意義を理解し、関係法令や行政組織を含め、社会教育機関としての理解を深めることにある。具体的には、生涯学習と社会教育の意義、生涯学習の特性、社会教育行政の役割、生涯学習における学習者と学習支援者の特性、生涯学習における家庭教育・学校教育・社会教育の役割と連携、生涯学習と地域との関わりなどについて理解する。	①生涯学習及び社会教育の本質と意義を十分に理解できている。 ②生涯学習に関する制度・行政・施策、家庭教育・学校教育・社会教育等との関連、専門的職員の役割、学習活動への支援等について十分に理解できた上で、その知識を応用することができる。	①生涯学習及び社会教育の本質と意義を理解できる。 ②生涯学習に関する制度・行政・施策、家庭教育・学校教育・社会教育等との関連、専門的職員の役割、学習活動への支援等について理解できる。	
SIK91-3-009	応用	資格	博物館実習1	必修	3	実習	2	前後期		60	20	20			博物館資料の取り扱いや収集、保管、展示、整理、分類等の方法、調査研究の手法等を習得する学内実習。	本科目の目的は、館内実習に先立ち、学内での実習を通して、学芸員の仕事を具体的に把握し、実務的な能力を養うための基礎を学ぶことにある。多岐にわたる学芸員の仕事内容、博物館の運営の現状、作品・資料を取扱うための知識や心構えなどを、講義や実践を通して理解する。なお、本科目は、見学実習(多様な館種の実態理解)と実務実習(資料の取り扱い、展示、博物館運営等の実務習得)から成る。	①見学実習を通して、多様な館種の実態を十分に理解し、その現状や課題を的確かつ説得力を持って考察することができる。 ②実務実習を通して、資料の取り扱い、展示、博物館運営等の実務を十分に習得した上で、それを応用することができる。	①見学実習を通して、多様な館種の実態を理解できる。 ②実務実習を通して、資料の取り扱い、展示、博物館運営等の実務を習得できている。		
SIK91-4-010	応用	資格	博物館実習2	必修	4	実習	1	通年集中		60	20	20			館内実習を通して、館の実態や学芸員の業務を理解し、実践的能力を身に付ける。	本科目では、博物館における実務体験による館内実習を行う。博物館実習は、学芸員養成教育において学んだ知識・技術や理論を生かして、学内及び館内での実体験や実技を通して、学芸員として必要とされる知識・技術等の基礎・基本を修得することを目標とする。なお、館内実習は、事前指導、館での実務体験、事後指導の3つから成る。	現場体験を通して、館の実態や学芸員の業務を十分に理解し、その現状や課題を的確かつ説得力を持って考察することができる。また学芸員としての実践的能力を十分に身に付け、応用することができる。	現場体験を通して、館の実態や学芸員の業務を理解し、実践的能力を身に付けている。	博物館概論／博物館資料論／博物館経営論／博物館実習1	